

1. 研修講師の氏名、専門分野、保有資格、講師経験の有無

氏名：澤田 雅之

専門分野：情報通信技術、顔画像識別技術、プロジェクトマネジメント、発注者エンジニアリング

保有資格：技術士(電気電子部門)

講師経験：官公庁や大手企業等において、「技術プロジェクトのマネジメント」や「発注者のエンジニアリング」等に関する多数の講師経験を有する。

2. 研修テーマ

技術プロジェクトを破綻させない鍵 ～ リスクマネジメントとダメージコントロール ～ 小惑星探査機「はやぶさ」の大成功とX線天文衛星「ひとみ」の大失敗に学ぶ

3. 研修の概要

小惑星探査機「はやぶさ」は、平成22年6月、小惑星のサンプルを持ち帰る世界初の偉業を達成しました。途中、予期せぬ危機的な状況に何度も陥りましたが、その都度、迅速かつ的確なダメージコントロールにより、危機を脱しています。

X線天文衛星「ひとみ」は、超高精度な観測機器を多数搭載した国際協力プロジェクトでした。平成28年2月の打ち上げに成功しましたが、その一ヶ月後、予期せぬ事態の発生に際し、ダメージコントロールの暇も無いまま空中分解して失われました。

「はやぶさ」も「ひとみ」も、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構の宇宙科学研究所が打ち上げました。しかし、一方は大成功し、他方は大失敗です。その成否を分けた鍵は、事前のリスクマネジメントにありました。

そこで、「はやぶさ」と「ひとみ」それぞれのリスクマネジメントとダメージコントロールを分析することにより、官公庁が工事請負や製造請負の発注により実現を目指す技術プロジェクトを破綻させないための、リスクマネジメントとダメージコントロールの要点を具体的に解説致します。

4. 研修対象とする職員

技術プロジェクトメンバーとなる技術系職員及び事務系職員

技術プロジェクトのマネジメントを担う技術系幹部職員及び事務系幹部職員

5. 研修受講により期待される効果

官公庁が工事請負や製造請負の発注により実現を目指す技術プロジェクトについて、発注に先立つリスクマネジメントの徹底が、発注後の予期せぬ事態発生時における強靱なダメージコントロールの実現に直結することを具体的に理解できます。また、工事請負や製造請負の発注におけるリスクマネジメントとダメージコントロールの要点について、具体的に修得できます。